

**Q** 6つある町内の駅のうち、幌延駅を除く駅の今後の維持管理はどう考えているのか。

**A** 来年度以降の駅の存続については、その年の6月までにJRに意向を報告することになっている。令和3年度に2駅を廃止したが、来年度以降は現状維持で行う考えである。町で駅の維持管理業務を行うにあたっては、JR旭川支社、幌延駅から講習を受けている。作業を請け負ってくれる人も確保できたので、安



全に配慮しながら管理していく。

**Q** 昨年のインフルエンザワクチンの時に、指定時間の2〜3分前に診療所へ行ったら、外で待つように言われた。11月だと雪の降る日もある。相手と状況を見て対応してほしい。

**A** 感染予防および防止のため、時間厳守としている。時間を守っていただくのが基本だが、事情があつてどうしても早く、徒歩で診療所に来てしまった方については、下駄箱のあたりに椅子を数脚置いて対応する。車で来られた方については、従来どおり車内での待機をお願いする。



お問い合わせ先

住民生活課生活グループ

電話 5-11112

告知端末機 5-8812

## 高規格救急自動車を更新されました。

北留萌消防組合消防署幌延支署に、救急自動車更新事業として、最新の救命処置資器材を積載した高機能な救急自動車が配備され、2月1日(火)から運用を開始します。

今回の救急自動車更新事業は、現在配備している平成23年製の救急自動車からの更新であり、最新で高性能な仕様となっています。

車両は12月に納車され、運用開始までの間、職員は最新の救命処置資器材の使用などの訓練を重ねています。

2月からはこの新しい高規格救急自動車です。町民みなさんの命を守るために充実した救急業務を提供できるよう努めていきます。



高規格救急自動車とは・・・

除細動器や自動心肺蘇生装置、自動式人工呼吸器などの装備を整え、緊急の時には、救急救命士が医師の指示を受けて点滴処置や薬剤の投与、気道を確保するチューブを挿入する救命処置を施しながら病院へ搬送する救急自動車です。

こうした医療行為は、救急救命士が行うことができ、幌延支署には現在7名の救急救命士がいます。

### 高規格救急車の資器材の名称と概要

画像	名称:概要
	<b>除細動器</b> 正常な働きをしていない心臓に、必要があれば電気ショックを与え、正常な動きに戻すことができる機械です。 (必ず正常な心臓の動きに戻す機械ではありません。)
	<b>救急モニター</b> 心電図測定、血圧測定、身体の酸素濃度を測定することができます。
	<b>自動心肺蘇生装置</b> この機械により、自動で絶え間なく心臓マッサージを行うことができます。